

ほけんだより

京都橘中学校・高等学校
 高校3年生《卒業号》
 No.13 保健室
 2025.2.28(金)



祝 121期生のみなさん、ご卒業おめでとうございます

少しずつ日常を取り戻しつつある中、みなさんはこの橘高校に入学してくれました。困難な状況の中でも、体育祭や学園祭など盛り上がっているみなさんの場面がいくつも思い出されます。
 「雲の上はいつも晴れ」どれだけ困難に直面してもそれを越えた先には明るい未来が待っているはずです。明日は最高の晴れ晴れとした笑顔で巣立って行ってください。



121期生の来室の様子

121期生のみなさんの来室の様子をまとめてみました。さて、みなさんはどんな時に保健室を利用したでしょうか。体調を崩す日もあります。ケガをする日もあります。気分的に落ち込んでしまう日もあります。でも、しんどくなったとき、困ったとき、どこにSOSを出せばいいのかわかることは大切です。一人で頑張るときも必要ですが、誰かに頼ってもいい時もあります。それぞれの進む道で、SOSを出せる場所・人を見つけておいてください。



3年間の保健室利用数は…

高1：359人
 高2：364人
 高3：254人
のべ：977人



121期生のみなさんは、1年生の時は来室も多かったですが、学年が上がるに連れて、来室者も減ってきましたね。これはみなさんの成長??として受け止めています。保健室からは『自分の体は自分で守れる』みなさんであって欲しいと、「ほけんだより」等を通してメッセージを送ってきました。卒業を迎えるみなさん、健康は自分自身のものだから、それを守るのも自分自身だということを忘れないでください。



「さようなら」に込める思い…

「さようなら」という挨拶。元々は「左様なら」(そうであるならば、という意味)が語源とされ、「そうであるならば」の後に続く「また会いましょう」などの言葉が省略されたものだとされています。

海外での「さようなら」は「Good bye」「See you again」

「Adios」「Adieu」などと言います。これらは、『神のご加護を』『また会いましょう』『お元気で』などという意味です。

日本語の「さようなら」は省略された意味なので、メールなどで使うときは「元気でね」「またね」など一言プラスするといいかもかもしれませんね。



121期生のみなさん、さようなら、またいつか会いましょう。そして、みなさんの活躍を期待し、応援していますよ👍👍



ご卒業おめでとうございます



121期生のみなさん 卒業おめでとうございます

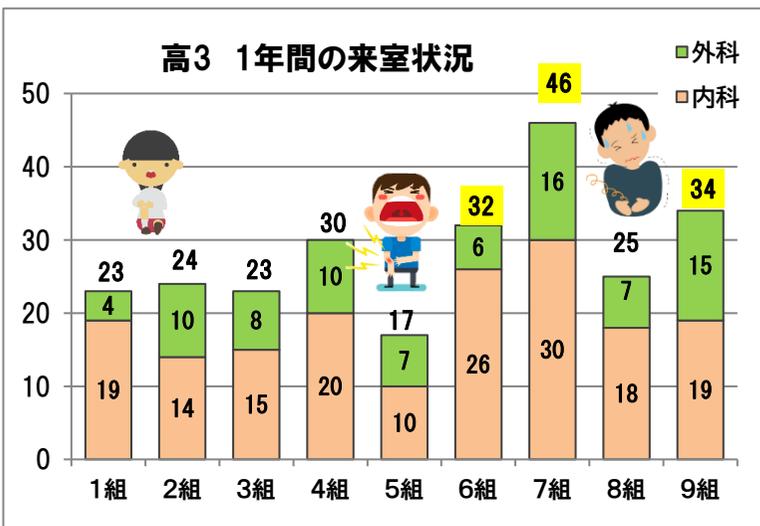
A friend in need is a friend indeed.

(直訳：苦難にあるときの友人は真実の友人)と、という言葉を知っていますか。今、いてくれる友人を、これから出会う友人を大切に！そして、自分自身が誰かの真の友人でいられるように。一緒に泣いて、怒って、喜んで、楽しんで、あなたの進む道が輝きを増すはずですよ。

梶川 弘子

121期生のみなさん、橘高校での3年間(6年間)はどうでしたか？気持ちよく過ごせましたか？今の時代、目指す夢も、またその夢を実現する方法も十人十色です。卒業という新たなスタートに際し、これまで以上に大きく羽ばたくみなさんの活躍を応援しています。自分が信じた道を自分のやり方で力強く進んで行ってください。保健室から応援していますよ！！

丸尾 千恵美



祝

卒業おめでとう

今日までつづけてきた
がんばりつづけてきた
あなたに
はなむけの言葉を
贈ります
人は誰でも最初は
あがりなことから
出発します
不安・淋しい・試練を
どのように自分の力
のりこえてゆくかが
人のま糸晴らしです
これから自分をみつめ
しっかりと道へ明るく
自分のめざす道へ明るく
誠実に生きて下さい
あなた頑張ってください

